

平成27年度
事業報告書

自 平成27年4月 1日

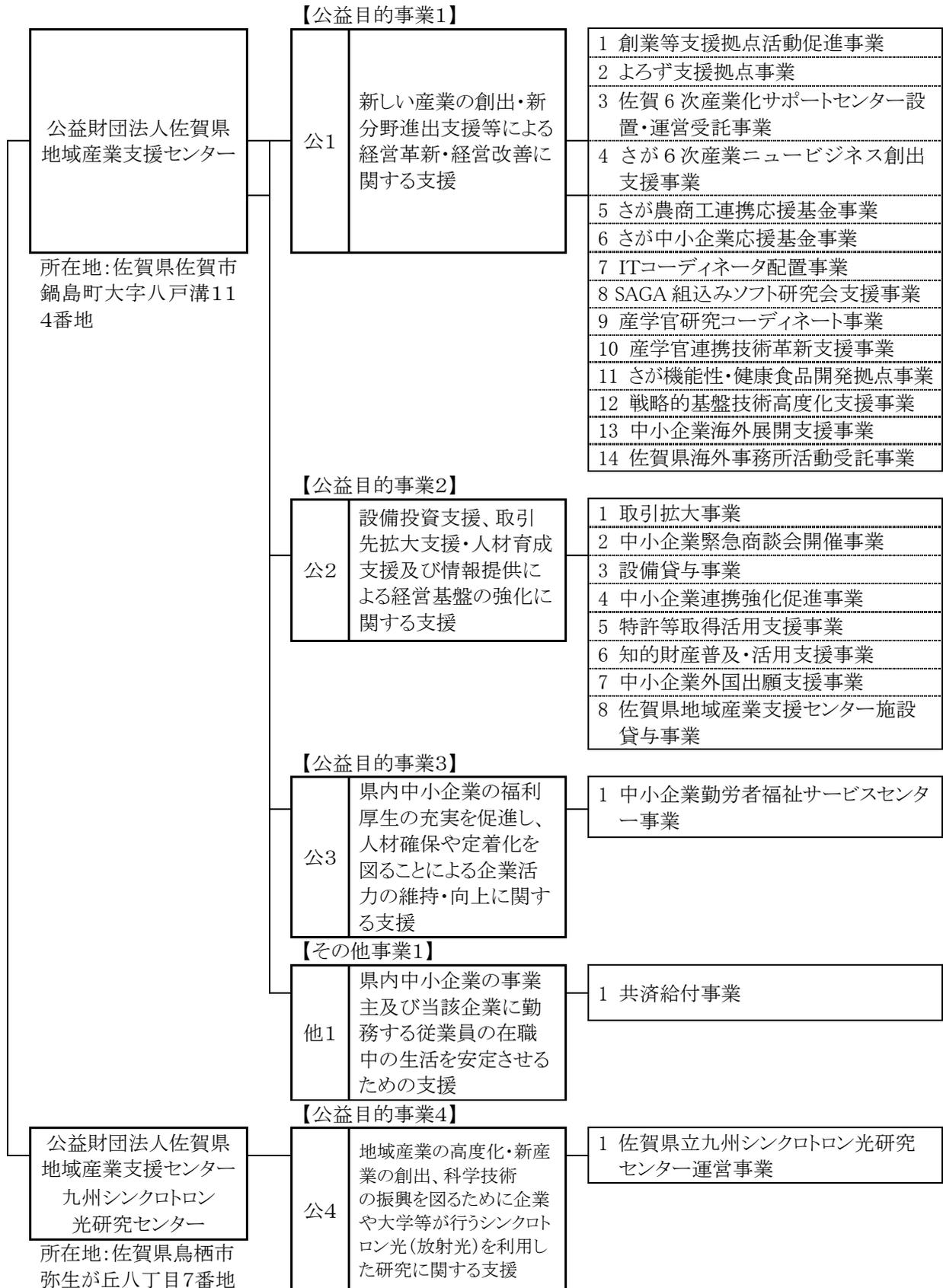
至 平成28年3月31日

公益財団法人佐賀県地域産業支援センター

目 次

第 1	平成 27 年度事業体系.....	1
第 2	平成 27 年度事業報告.....	2
1	新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善に関する支援（公 1）	2
2	設備投資支援、取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援（公 2）	23
3	県内中小企業の福利厚生の充実を促進し、人材確保や定着化を図ることによる企業活力の維持・向上に関する支援（公 3）	28
4	県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活を安定させるための支援（他 1）	28
5	地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究に関する支援（公 4）	29
第 3	庶務事項	31

第1 平成27年度事業体系



第2 平成27年度事業報告

1 新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善に関する支援（公1）

【事業の趣旨】

県内中小企業の振興を図るため、本事業は、新しい産業の創出や新分野進出に対する支援を始め、経営革新や経営改善に関する支援を行うことを目的としている。

【事業の構成】

本事業は、次の事業から構成される。

- 1 創業等支援拠点活動促進事業
- 2 よろず支援拠点事業
- 3 佐賀6次産業化サポートセンター設置・運営受託事業
- 4 さが6次産業ニュービジネス創出支援事業
- 5 さが農商工連携応援基金事業
- 6 さが中小企業応援基金事業
- 7 ITコーディネータ配置事業
- 8 SAGA組込みソフト研究会支援事業
- 9 産学官研究コーディネート事業
- 10 産学官連携技術革新支援事業
- 11 さが機能性・健康食品開発拠点事業
- 12 戦略的基盤技術高度化支援事業
- 13 中小企業海外展開支援事業
- 14 佐賀県海外事務所活動受託事業

【公1個別事業の内容】

（1）創業等支援拠点活動促進事業 [17,165,423円：佐賀県補助事業]

《担当部署：経営革新支援課・ものづくり支援課・6次産業化支援課》

県内における創業・ベンチャー・経営革新を促進するため、中小企業者の経営資源の充実・強化並びに新事業創出を促進する体制を整備し、支援を行った。

ア 支援体制整備事業

経営指導の経験を持つマネージャーを2名配置し、創業者、ベンチャー企業、経営革新を目指す企業から様々な経営課題の相談を受け、課題解決に向けたビジネスプランブラッシュアップ、コーディネート推進等の支援を行った。

イ 専門家派遣事業

意欲的な中小企業者の情報化や経営革新に係る事業計画等に関する課題に応じて、民間の専門家を派遣し、診断・助言を行った。

- ・派遣件数 9件

経営革新	IT活用	販路開拓	労務管理
5件	2件	1件	1件

ウ ベンチャー交流ネットワーク事業

ベンチャー企業や起業家・創業希望者等の相互の情報交換及び産学官の各種専門家や近県ベンチャー企業との交流等を通して事業提携、事業協力の機会等を提供した。

【開催内容】

- 第1回 平成27年5月14日（木）

- ・総会
- ・経営革新セミナー
「今後の（株）ブルームのグローバル化とビジネスの可能性
～フランス・日本・アジアの成長するネットワーク構築への挑戦～」
- ・ビジネスプランコンテスト受賞者によるテーマ発表
「佐賀鍋島藩の小紋柄の基になった地ごまの復活とその関連商品『鍋島小紋』の開発・販路開拓」
- ・販路拡大に向けた展示会への取組み
販路拡大に向けた展示会の実施内容紹介
会員企業商品展示及び紹介

- 第2回 平成27年7月23日（木）

- ・講演会
「小さな企業でも100年企業を目指す～いつまでもお客様に必要とされるように～」
「地域コンテンツデザインの可能性、ネタは足元にある」
- ・技術展示会・ポスターセッション
佐賀大学：19グループ
ベンチャー会員：16企業

- 第3回 平成27年10月27日（火）

- ・「さがラボチャレンジカップ2015」受賞者紹介及び発表等
- ・経営革新セミナー
「起業とゴールと起業家精神～起業家への7つのアドバイス～」
- ・鳥栖商工会議所会員によるビジネスプラン発表
- ・ベンチャー交流ネットワーク、鳥栖商工会議所会員の自社商品展示

○第4回 平成28年2月15日(月)

・講演会

「新規事業の立ち上げと販路開拓の進め方～販路開拓に係る施策の概要と事例紹介～」

「5年で売り上げを6倍にした経営戦略!!」

- ・有田焼創業400年事業の紹介
- ・会員企業商品展示及び紹介

○さがラボチャレンジカップ2015

- ・一次審査：平成27年8月10日(月)～9月2日(水)

応募総数34件のうち上位8件を一次審査通過者として選定

- ・二次審査：平成27年9月30日(水)

8企業のプレゼンテーション実施後、受賞対象者を選定

最優秀賞：株式会社炭化

優秀賞：有限会社佐賀ダンボール商会

奨励賞：株式会社キャリアサプライ

- ・表彰状授与式：平成27年10月16日(金)

○会員企業の展示会出展

- ・佐賀環境フェスティバルへの参加(H27.11.14～15 どん3の森)

○勉強会

- ・6回/年〔法律勉強会：2回、プレゼン勉強会：3回、女性会員勉強会2回(参加人員：49人)〕

○ホームページ活用

- ・新聞記事内容など会員の活動状況、各種コンテスト受賞状況やコンテスト・セミナー案内など情報を提供

(2) よろず支援拠点事業 [50,526,869円：国委託事業]

《担当部署：経営革新支援課》

中小企業や小規模事業者、創業予定者等の様々な課題に対応するため、他の支援機関とも連携しながら、事業計画、販路開拓、商品開発やITの利活用、海外展開など幅広い分野の専門家を配置した新しい相談窓口として、国の採択を受けて当財団内に設置し、相談に対応した。

ア よろず相談

コーディネーター10名を配置し、482社、2,659件の相談に対応した。

○相談内容

I T活用	906 件
経営課題一般（施策活用、事業計画策定等）	827 件
現場改善・生産性向上	225 件
デザイン	238 件
広報戦略	194 件
売上拡大（海外展開、商品開発、販路提案等）	141 件
その他	128 件
合 計	2,659 件

○相談者業種

1 次	農林漁業	84 件
2 次	建設業	172 件
	製造業	864 件
3 次	情報通信業	14 件
	運輸業	10 件
	卸売業・小売業	617 件
	金融業・保険業	7 件
	サービス業	531 件
	学術研究、専門・サービス業	43 件
	宿泊業・飲食サービス業	120 件
	生活関連サービス業、娯楽業	32 件
	医療・福祉	79 件
	サービス業（他に分類されないもの）	21 件
	その他	65 件
合 計		2,659 件

イ セミナー開催

よろず支援拠点事業の周知を目的にセミナーを開催した。

○セミナー

①平成 27 年 6 月 19 日（金）

佐賀県よろず支援拠点開設 1 周年記念セミナー

・「よろず支援拠点への期待」

九州経済産業局 中小企業課 課長 名垣眞一氏

・「小さな会社を強くするブランドづくり」

静岡県立大学 経営情報学部 教授 岩崎邦彦氏

②平成 27 年 10 月 7 日（水）

「小さな会社の成功事例 100 連発！セミナー」

㈱インタークロス 代表取締役 栢野克己氏

○土曜セミナー

当拠点コーディネーター、サブコーディネーター及びゲストアドバイザーによるセミナーを10回開催した。

①平成27年7月11日(土)	「ものづくり・商業・サービス革新補助金」獲得セミナー
②平成27年8月22日(土)	「創業のいろは教えます！創業セミナー」
③平成27年9月26日(土)	「小さな会社のネットショップチャレンジセミナー」
④平成27年10月24日(土)	「伝わるデザインのつくり方」
⑤平成27年11月28日(土)	「売上アップでもっと儲かる！経営革新チャレンジセミナー」
⑥平成27年12月19日(土)	「集客につながる SEO 指向のホームページ制作」
⑦平成28年1月23日(土)	「現場が生まれ変わる5Sセミナー儲かっている会社が秘かに実践している5Sとは？」
⑧平成28年2月13日(土)	「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金獲得セミナー」
⑨平成28年2月27日(土)	「商品撮影レベルアップ講座～ライティングの基礎から実践まで」
⑩平成28年3月26日(土)	「中小企業診断士が教える申請書作成のコツとポイント」

(3) 佐賀6次産業化サポートセンター設置・運営受託事業

[24,404,301円：佐賀県委託事業] 《担当部署：6次産業化推進課》

農山漁村や地域産業の活性化を図るため、農林漁業者・団体の6次産業化への取組や、消費者のニーズを反映するマーケットインの視点で農林漁業者等と商工業者等が連携する取組に対して支援を行った。

ア 相談の受付

- ・農林漁業者等からの相談に応じるため常設の相談窓口を開設
 - ・農林漁業や商工業、流通、経営等の分野の専門家（コーディネータ）が、農林漁業者等からの相談対応に加えて、農林漁業者等と商工業者等のニーズ・シーズの掘り起しやマッチングを実施
- ⇒ 相談件数 405件

イ 研修会・講座等の開催

新たに6次産業化に取り組む意向のある農林漁業者等への知識・技術習得等を支援

⇒ 7回開催

ウ 異業種交流会の開催

農林漁業者等と商工業者等とのマッチング機会の創出

⇒ 1回開催

エ 専門家派遣、個別相談会の実施

加工技術やブランド化、事業計画策定等の相談内容に応じた専門家の派遣や、地域での個別相談会等により6次産業化や多様な業種との連携などを推進

⇒ 延べ155回専門家を派遣、個別相談会を3回開催

オ ブラッシュアップ検討会の実施

6次産業化により開発された商品を、加工やデザイン等の複数の専門家（プランナー）で評議、改善点を指導

⇒ 2回開催

(4) さが6次産業ニュービジネス創出支援事業[31,064円：佐賀県補助金]

《担当部署：6次産業化推進課》

地域農林水産物の高付加価値化や新たなビジネス創出を図り、地域経済の活性化を図るため、6次産業化の取組を行う企業（2次・3次企業）を選定し、加工・販売用施設設備の整備等の実現に向けた支援を行った。

(5) さが農商工連携応援基金事業[29,043,356円：基金事業]

《担当部署：6次産業化推進課》

県内中小企業と農林漁業者が有機的に連携し、農林水産物等の活用等互いの経営資源を結びつけることにより新商品・新技術等の開発を行う取り組みを支援した。

ア 助成対象者 中小企業者と農林漁業者との連携体

イ さが農商工連携応援基金造成

基金造成額 25.2億円

（うち県借入金 20.1億円、地場金融機関 5.1億円）

ウ 基金果実により以下の事業を助成

・新商品開発等支援事業

新商品の開発、新役務の提供、試作品開発、展示会出展等に要する経費への助成

・助成限度額 500万円

・助成率 2／3以内

・新規採択件数 7件

事業のテーマ	連携体の構成		役割	交付決定額 (千円)
腐植酸資材を用いた佐賀県産黒大豆「佐賀黒7号」の栽培・収穫方法及び冷凍枝豆の製造・収穫方法	農林漁業者	(有)マルハ園芸(白石町) 【農業】	佐賀県産の黒大豆の生産・冷凍枝豆の製造確立	3,062
	中小企業者	(株)クリエイト(鳥栖市) 【製造業】	佐賀県産の黒大豆の栽培・収穫方法の確立、土壌や黒大豆の分析評価、黒大豆を用いた冷凍枝豆の製造・販売	
農業に適したウルトラファインバブル発生装置の開発と装置を用いた柑橘、イチゴ栽培方法の研究	農林漁業者	佐藤農場(株)(鹿島市) 【農業】 井手農園(唐津市) 【農業】	ウルトラファインバブル水によるレモン苗木・イチゴの栽培研究	2,326
	中小企業者	(株)ワイビーエム(唐津市) 【製造業】	ウルトラファインバブル発生装置の開発及び製造	
地域の特徴を生かした生産者の商品開発や販路開拓のお手伝いをトータルでサポートする新事業構築と武雄市武内町産のへちまを使った美容用品の開発	農林漁業者	へちまや群生社(武雄市)	原料となる高品質のへちまの安定的、効率的な精算方法の確立	4,889
	中小企業者	(株)STS ライフプロモーション(佐賀市) 【広告代理店】	地域の特徴を生かした生産者の商品開発や販路開拓のお手伝いをトータルでサポートする新事業構築	
佐賀県産もち麦・野菜チップを使った機能性のある新商品の開発	農林漁業者	フェルマ木須(伊万里市) 【農業】	原材料の提供	5,000
	中小企業者	本村製菓(株)(佐賀市) 【製造販売業】	佐賀県産の特産品を使用した製造及び販売方法の確立	
フリーズドライを活用した魚まるごとサプリメントの開発	農林漁業者	佐賀玄海漁業(協)(唐津市) 【水産業】	原材料の調達、一次加工	5,000
	中小企業者	(株)ヤマフ(唐津市) 【卸売・小売業】	鮮魚買付、商品開発、販売	
佐賀県産タマネギを活用した調味料の試作開発とマルチブランド戦略による販路開拓	農林漁業者	山領ファーム(佐賀市) 【農業】	新規調味料に適したタマネギの品質確保の方法の研究及び販売方法の確立	1235
	中小企業者	丸秀醤油(株)(佐賀市) 【食料品製造業、調味料製造業】	佐賀県産タマネギを活用した新規調味料の製造及び販売方法の確立	
粉末オリーブエキスの開発と化粧品・関連商品の開発	農林漁業者	(株)ハーベスト(唐津市) 【農業】	オリーブ栽培及び果実・葉などの原材料供給、オリーブオイルの搾油、オリーブ化粧品の販売	5,000
	中小企業者	(株)ブルーム(唐津市) 【製造業】	オリーブの粉末化、化粧品商品開発のコーディネート	

(6) さが中小企業応援基金事業 [14,513,962円：基金事業]

《担当部署：経営革新支援課》

県内中小企業者を対象に新産業分野（ナノテク、新エネ、ポストゲノム、コンテンツビジネス、光触媒）、自動車産業分野、県内地域資源（有田焼、諸富家具などの佐賀県が特定する地域資源）を活用した分野において、新製品開発や販路開拓の取り組みに対して支援した。

ア 新製品開発助成事業

- ・新規採択件数 1件
- （助成分野内訳）新産業（コンテンツビジネス） 1件

イ 販路開拓助成事業

- ・新規採択件数 8件
- （助成分野内訳）新産業（コンテンツビジネス） 1件
- 地域資源 7件

ウ 交付決定事業内訳

事業名	助成事業者名	分野	事業計画のテーマ	交付決定額 (千円)
新製品 開発事業	(株)オフィス・タカ ハシ	コンテンツ ビジネス	아이폰・アンドロイド対応 オリジナルジグソーパズル AR 自動 再生簡易注文システム	1,532
販路 開拓事業	佐藤農場(株)	地域資源 (みかん)	有機温州みかんだらフルーツ (H27.11.12～11.13 地方銀行フ ードセレクション)	584
	(株)オフィス・タカ ハシ	コンテンツ ビジネス	AR 機能付きオリジナルジグソーパ ズル (H27.7.8～7.10 ライブ&イベント産 業展)	361
	佐賀県陶磁器 卸商業協同組 合	地域資源 (有田焼)	Arita Icon・Pastel Deco シリーズ・富 士山シリーズ (H27.9.2～9.4 東京インターナシ ョナル・ギフト・ショー秋 2015)	1,000
	岩田屋フード (株)	地域資源 (佐賀牛)	佐賀牛基山カレー・佐賀牛基山ハ ヤシ (H28.4.13～4.15 食肉産業展)	733
	(有)ミマツ工芸	地域資源 (諸富家 具)	現代のライフスタイルから考える 「男 mono(商品)」シリーズ (H28.1.22～1.26 メゾン・エ・オブ ジェ)	922
	(株)中村	地域資源 (楠)	カンフル&ラベンダー アロマ柔軟 仕上げ剤ミスト 350ml (H28.2.3～2.5 第 81 回東京イン ターナショナル・ギフト・ショー春 2016)	552

	(株)キハラ	地域資源 (有田焼)	KIHARA KOMON シリーズ、 SITAKU シリーズ、TOKYO ICON シリーズ (H28.1.31～2.3 国際家庭用品見 本市 New York Now)	1,000
	梶謙製磁(有)	地域資源 (有田焼)	明治期の型を利用した縁起の良い タイ型小皿「招福鯛」 (H28.1.31～2.8 東京ドームテー ブルウェアフェスティバル)	948

(7) ITコーディネータ配置事業 [3,841,872円：佐賀県補助事業]

《担当部署：経営革新支援課》

高度な専門的人材が不足する県内中小企業者において、ICT (Information and Communication Technology:情報通信技術) 導入に積極的な企業を中心に、ICT の経営への活用、業務の効率化を支援した。

また、ICT の活用により得られる情報等を共有し、経営判断の材料として活用することで、経営力向上、経営革新、新技術・新分野への展開を支援した。

ア ITコーディネータの活用

中小企業の生産管理の向上、経営革新の推進、新事業展開等の取組に、高度 ICT 利活用をもって対応できるようになることを目的に、ITコーディネータ (1名) を配置し相談を実施した。

また、ITコーディネータが当事業 (個別相談及び専門家派遣) 及び国、県、関係団体等が実施する同様の効果が見込まれる各種支援策をコーディネートすることで、日常の企業経営において効果的なICTの導入やその使用法を経営 (戦略) に活かせるよう指導・助言を行った。

製造業	サービス業	小売業	卸売業	飲食業	建設業	宿泊業	運送業	農業
18社	11社	8社	6社	2社	3社	3社	1社	3社

イ 専門家派遣

ITコーディネータによる相談、助言や企業訪問を通じ、ICT 導入・ICT 高度利活用に意欲のある企業に対し、ITコーディネータが、当該企業が抱える様々な課題 (基幹業務システム改善等) 解決に向け、企業の発展段階に応じた専門家派遣を実施した。

(8) SAGA組込みソフト研究会支援事業 [0円：自主事業]

《担当部署：経営革新支援課》

県内企業の技術者のスキルアップ、技術の振興と会員企業の販路拡大及び人材育成を図ることを目的に研究会を開催した。

・研究会の開催

情報産業分野の企業・技術者を中心に構成する組み込みソフト研究会において、組み込みソフト技術を活用した新事業展開の推進を図るため、最新の組込技術、市場動向等の情報交換などを主体とした研究会を開催した。

開催年月日	実施概要・テーマ
平成27年 4月 8日	人型ロボット
平成27年 5月13日	マルチコプター
平成27年 6月10日	台湾ファブラボ視察報告
平成27年 7月 8日	ドローン
平成27年 8月12日	ドローンレースプレ大会参加報告
平成27年 9月 9日	ツリーディスプレイの制御
平成27年10月 7日	支援センター公開デー展示打合せ
平成27年11月11日	ガジェット紹介
平成27年12月 9日	Arduino 用プリンタ
平成28年 1月13日	ARM コンピュータと携帯ディスプレイ
平成28年 2月10日	無線機器の紹介
平成28年 3月 9日	LabView 勉強会

(9) 産学官研究コーディネート事業 [5, 120, 778 円：佐賀県補助事業]

《担当部署：研究開発推進課》

新技術の開発や新産業の創出を図るため、県内企業のニーズと大学・公設試等のシーズをマッチングするコーディネーターを配置し、産学官の共同研究等を推進・支援した。

共同研究の企画・立案(企画提案支援) 17件

(10) 産学官連携技術革新支援事業 [13, 213, 844 円：佐賀県補助事業]

《担当部署：研究開発推進課、知財支援課》

地域特性を活かした県内企業の新製品開発や技術革新を促進するため、新製品・新技術開発に取り組む県内中小企業に対して、医療や健康分野などの国の成長戦略に示された分野等を特定分野、それ以外を一般分野に区分し、基礎研究・応用研究及びそれに続く実証・実用化研究について助成した。

また、新たな成長分野として注目されている医療機器分野への参入を促すため、医療従事者と中小企業者等で構成する「医工連携研究会」を設置し、医療現場が抱える課題・ニーズと企業等の技術シーズのマッチングが進むよう、研究会活動の支援及びセミナーを開催した。

さらに、大手企業が有する開放特許を活用して、県内企業の新製品開発や新事業展開を促すため、大手企業の特許の紹介やマッチングセミナーを開催するなどして、その支援を行った。

ア 基礎研究開発助成事業 採択 8 件

＜基礎・応用研究 2 件＞

(ア) 課題名：「自動車内装部分の金属調塗装技術の開発と評価に関する研究」

受託者：九州大栄工業株式会社

委託確定額：2,956,344 円 契約締結日：平成 27 年 6 月 29 日

特定分野：自動車関連

共同研究機関：佐賀県工業技術センター

【研究概要】

① 金属調(メッキ・蒸着代替え)塗装技術の研究開発

○塗料の開発

プラスチックの塗料として、低温熱処理で基材表面に銀膜として付与できる塗料の開発。

○塗装装置・塗装技術の開発

0.2 μ の銀膜で表面光沢が金属調(メッキや蒸着と同等)の塗装薄膜処理に必要な塗装装置の開発導入と導入塗装装置を使用した塗装技術の開発により、試作サンプル作成。

② 金属調塗装の品質試験と評価

自動車メーカーの要求される塗膜の品質試験内容による性能評価をする。

【成果】

自動車に求められている電波透過型金属光沢のある薄膜(0.2 μ n)の塗料開発と塗料技術が確立でき、品質試験と評価ができた。熱乾燥金属調塗料による自動車向け事業化の開発が可能になった。もう一つの目標である常温乾燥金属調塗料は品質試験結果で耐酸性と塩水噴霧性の二つの問題が明確になり、本問題は金属調塗料ではなく、トップコートの浸透性が問題と分かり、トップコート塗料の開発が今後の課題となっている。

(イ) 課題名：「セラミックスフィルターで抽出したコーヒーの味覚評価に関する研究」

受託者：有限会社久保田稔製陶所

委託確定額：1,691,900 円 契約締結日：平成 27 年 6 月 25 日

一般分野

共同研究機関：佐賀県工業技術センター・佐賀県窯業技術センター

【研究概要】

① セラミックスフィルターで抽出したコーヒーの味覚評価方法の検討

(ペーパーフィルターで抽出したコーヒーの味覚特性との比較検証)

セラミックスフィルターとペーパーフィルターの味覚の違いを比較評価し、セラミックスフィルターの特徴を検証する。

② コーヒー抽出用セラミックスフィルターの組織制御の検討

味覚に及ぼすセラミックスフィルターの特性(骨材やフラックス素材、気孔率、気孔直径、渥美、表面状態)の影響を検証する。

【成果】

味覚センサ試験の結果を基に、専門家の意見を聞き、オリジナルセラミックフィルター(60 μ m)の外側にそれぞれ20 μ m、40 μ mの細孔を持つ素材を加工し2層式のセラミックフィルターを製作した。このフィルターを使用して実際にコーヒーを抽出したところオリジナルフィルターよりも味わい深いコーヒーが抽出できた。今後、事業終了後も味覚センサを活用して継続的に品質改良を行っていく意向である。

<実証・実用化研究6件>

(ウ) 課題名：「がん化学療法などの疾患治療により生じる脱毛などの悩みを解消する為に独自に研究開発した、ウィッグとインナーキャップを装着時の頭皮などの計測に基づく実証・実用化研究」

受託者：有限会社ビューティック二葉

委託確定額：1,180,000円 契約締結日：平成27年7月6日

一般分野

共同研究機関：佐賀大学医学部

【研究概要】

自社開発ウィッグ装着時の頭皮及びウィッグ-皮膚により形成される空間における環境測定

① 頭皮の堅さや当該空間における基本特性を他社製ウィッグとの比較による分析

・測定予定項目：温度、湿度、皮膚における摩擦係数など

② 自社製ウィッグ装着時の日常生活場面での基本特性の計測

・測定予定項目：頭部運動時のウィッグのズレなどの計測

③ 自社製ウィッグ装着時の日常生活場面における主観的評価及び実践的特性計測

・方法 a 事務作業 b 家事作業 c ラジオ体操

d トレッドミルを使用した歩行運動 e 横臥姿勢

【成果】

ウィッグの装着時の頭皮環境の測定については、整備できた装置がいずれも有効であり、これまでの経験から得た頭皮の清潔管理や感染防止はもとより、より正確なセンサー配置などのノウハウが相まって、かなり信頼性が高い亜計測システムを構築することができた。今後、数多くの方々のデータを得て、異なるウィッグ装用時の頭皮環境の計測や、その際に主観的反応などをより詳細に行い、オリジナルウィッグの先進性について明らかにしていく意向である。

(エ) 課題名：「卵殻膜の水溶化及び微細化による機能向上」

受託者：株式会社グリーンテクノ 21

委託確定額：1,972,077 円 契約締結日：平成 27 年 7 月 13 日

一般分野

共同研究機関：佐賀県工業技術センター

【研究概要】

① 水溶性卵殻膜における分子量と機能の関係性解明及びその評価試験

処理条件の調整により分子量を変えた水溶性卵殻膜に対して評価試験を実施し、分量と機能の関係を明示することにより、ニーズに合った水溶性卵殻膜の商品化に結実させる。

② 微粉末化(ナノ化を含む)した卵殻膜の研究開発および評価試験
化粧品原料として卵殻膜を開発していく中で、微粉碎技術(ナノ化技術を含む)を用いることで、粉末化した卵殻膜が天然素材のスクラブ等の化粧品原料になりうる可能性が示唆されている。そこで、微粉末化した卵殻膜の評価試験を実施し、本素材の化粧品原料としてのポテンシャルを明示する。

【成 果】

乳酸洗浄法を改良し、当社調達の卵殻膜に含まれる卵殻由来カルシウムの効率的除去方法が確立でき、産業的に応用可能な分子量を保持したまま卵殻膜を可溶化させる手法を見出した。高分子可溶化卵殻膜の素材としての優位性を明示するために、毛髪のダメージケア効果を評価する手法を確立し、ナノ化卵殻膜の調製、毛髪への保護剤としての保護効果を実証することができた。

(オ) 課題名：「産後腱鞘炎の補助サポーターの開発」

受託者：イイダ靴下株式会社

委託確定額：1,308,246 円 契約締結日：平成 27 年 6 月 25 日

特定分野：健康・医療関連

共同研究機関：佐賀大学医学部

【研究概要】

① 産後腱鞘炎についての研究

腱鞘炎の発生理由を研究して、どの部分に負担がかかるかを検証。

② 腱鞘炎手首サポーターの開発

サンプルを試作し、試作毎にモニター試験(試用者の試用等)を行い実際に効果があるのかを検証して機能性を確認。

③ 腱鞘炎サポーター機能性試験

モニター試験後、検証検査機関で測定器具を使用して検証試験をし、数値を用いて実証する。

【成 果】

位置解析において、手を台のうえに垂直に立てた場合の母指の位置は1名を除き、高位置で固定され、運動制限の効果が見られた。また筋電測定において、サポーターの着用により、長掌筋の負担が軽減傾向があり、さらに1名を除き、短拇外転筋の負担軽減傾向も確認できた。

今回の試験では5人中3人、4人に効果があると確認でき、一定の機能性を持ったサポーターを開発する事ができた。今後はこれらのデータを基に訴求して、販売につなげていく意向である。

(カ) 課題名：「CCFL光源を用いた、高演色形ランプの開発」

受託者：株式会社KMT e c

委託確定額：1,377,620円 契約締結日：平成27年6月29日

一般分野

共同研究機関：佐賀大学工学部

【研究概要】

① 高演色ランプの開発

- ・高演色の数値実現

JIS規格への準拠品を目的値とする。

- ・照明における、生物(人間を含む)への光学的特性の研究

② 植物育成用プラントの開発

- ・高演色形ランプでの植物育成

- ・標準型、高演色形での植物育成ランプとしての性能比較

【成 果】

何度かの試作を経て、CCFL光源を用いた高演色形ランプの試作に成功、量産化も可能となった。高演色ではない、標準のランプと比較したところ、明らかに色の再現性が上がっており、また、検査などに用いるときは非常に見えやすいといった効果も出てきている。

植物育成については、レタスの実験栽培において、従来品と高演色形で成長に差が見られ、高演色形の有効性を示せた。

(キ) 課題名：「小水力発電装置駆動部への次世代平ベルト導入実用化研究」

受託者：株式会社ミゾタ

委託確定額：1,359,907円 契約締結日：平成27年7月6日

一般分野

共同研究機関：佐賀県工業技術センター

【研究概要】

① 次世代平ベルト伝達効率の解明

② 水に対する次世代平ベルト許容範囲の同定

③ 騒音測定

④ 次世代平ベルト耐久試験

⑤ 次世代平ベルトの総合評価及び採用の可否の決定

【成 果】

次世代平ベルト伝動における発電能力(効率)は高いことがわかった。水による滑りは発生することが分かり、吸収性も含水試験により、重量増加があった。グリス塗布の必要がないため、チェーンに比べ、環境負荷は軽減された。騒音は本研究において、羽根による水かき音が大きくチェーンとの比較はできなかった。しかし、滑り時は騒音の数値が高くなった。耐久性としては 160 時間では各試験結果よりあまり劣化が観測できなかった。平ベルトの伝達能力はチェーンより優れており、強度も問題なく、水への対策を考慮し、今後製品の導入を検討していく意向である。

(ク) 課題名：「県産材料からなる新奇グレープフルーツリキュールの開発」

受託者：小松酒造株式会社

委託確定額：799,614 円

契約締結日：平成 27 年 7 月 10 日

一般分野

共同研究機関：佐賀大学農学部

【研究概要】

- ① 佐賀県産グレープフルーツの生産と貯蔵方法の開発
- ② 果実内代謝成分の変動を把握した収穫時期の決定
- ③ 佐賀県産グレープフルーツを活用した新奇リキュールの開発
- ④ 国産初となるグレープフルーツリキュールの販路開拓
- ⑤ リキュール製造に伴って生じる未利用資源の活路探索

【成 果】

「オールさが」の農作物のみからなる新奇なグレープフルーツリキュールを開発することができた。果実の収穫と貯蔵方法、製品製造と販路開拓、そして、搾汁後の果皮といった未利用資源には精油が存在すること、多くの代謝成分が含まれることなどが明らかにされ、これらの研究成果に基づいてグレープフルーツリキュールを製造することが実現したことから、現地では生果出荷のみならず、製品開発を視野に入れたグレープフルーツの新規導入と生産者の新規参入が期待される。

イ 研究会活動事業

○医工連携研究会

佐賀大学産学・地域連携機構と協力し、情報収集のためのコーディネータを配置して、佐賀大学医学部附属病院内、各医局(診療分野等)から病院内のお困り事(課題)を掘り起こし、今年度は 16 件のニーズを得た。

○医工連携シンポジウム

県内中小企業等が医工連携事業への参入を促すため、佐賀大学医学部の現場から掘り起こした医療課題のニーズを紹介し、また、医学部のお

困りごとの情報を介したマッチング会を開催して、医工連携事業の周知促進を実施するシンポジウムを実施した。

ウ 知財ビジネスマッチング支援事業 《担当部署：知財支援課》

大手企業が保有する「開放特許」を活用して新製品開発や新事業展開等へと繋げるため、知財ビジネスマッチングセミナーを開催して、県内中小企業に対し、大企業の開放特許の紹介や個別面談機会を提供して支援を行った。

(ア) 知財ビジネスマッチングセミナーの開催

○開催日時：平成27年12月15日

○講演内容

- ・富士通の技術紹介と知財を活用したビジネス創出(講師：富士通(株))
- ・開放特許を活用した中小企業支援と地域活性化

(講師：(公財)川崎市産業振興財団)

○参加人員：91人

(イ) 大手企業と県内中小企業との個別面談

○開催日時：平成27年12月15日・16日

○大手企業：富士通(株)

○参加県内企業：19社

(11) さが機能性・健康食品開発拠点事業 [34,295,684円：佐賀県補助事業]

《担当部署：6次産業化推進課》

佐賀県内において、付加価値の高い新産業(機能性食品分野)の創出・集積を図るため、県内中小企業等が産学官の共同研究等により行う新製品・新技術開発を支援した。また、本年度から機能強化として工業技術センターに試作・加工機を整備、コーディネイト部門と研究部門を総括する「徐福フロンティアラボ長」を新設、基盤的な研究開発や企業からの依頼分析等に従事する「新産業創出研究員」を2名配置した。

ア コーディネート事業

ライフサイエンス分野に幅広い知見を持ち、産学官連携と技術移転の構築支援の経験がある2名のコーディネーターを配置し、佐賀大学内に設置する「徐福フロンティアラボ」において、企業ニーズの掘り起し、研究者シーズとのマッチング、共同研究支援から新商品企画までを行うコーディネート活動事業を行った。

- ・研究開発プロジェクトの企画支援3件(うち採用3件)
- ・事業普及シンポジウムの開催(4ヶ所)

(佐賀市で延べ190名が参加)

- ・新規共同研究等締結数 1件
- ・商品化・事業化件数 2件

イ トライアルユース事業

県内中小企業が「徐福フロンティアラボ」における共同研究に取組みやすくなるよう、機能性・健康食品の共同研究を志向する県内中小企業等に対して、初期段階の研究に係る経費の一部を助成した。

- ・トライアルユース補助事業への助成 6件

(ア) 佐賀県産ボイセンベリーに含まれる「アントシアニン」「エラグ酸」「亜鉛」「葉酸」の含有量・成分分析

- ・事業者名：株式会社大橋
- ・確定額：422,000円
- ・補助期間：平成27年5月25日から平成28年2月29日まで
- ・研究概要

ボイセンベリー果実や果汁のもつ濃い紫色やこれまでの成分分析の結果から、アントシアニン等のポリフェノールが多く含まれるのではないかという想定をしていた。そのため、一般的にポリフェノール類が多く含まれるカシスやブルーベリーなども同時に成分分析を実施し、比較も行なった。その結果、他の果実と比べてボイセンベリーでは、葉酸の含有量が高い値を示す傾向が認められた。また、ボイセンベリーは他のベリー系果実に比べ果汁のドロップが多く、それによる栄養素の損失が大きい傾向があることも分かった。なお、ボイセンベリーについては、全8種類の状態別、その他のブルーベリーとカシスについては全3種類の状態別で成分分析を実施した。

(イ) 武雄市武内町産・太へちまのへちまの葉及びへちま水のサポニン・ペクチンの含量分析

- ・事業者名：へちまや群生舎
- ・確定額：246,000円
- ・補助期間：平成27年5月25日から平成28年2月29日まで
- ・研究概要

サポニンの定量 (PPD 及び PPT) ORAC 測定

チロシナーゼ活性の測定、保湿性評価試験他社2社 (富山産、熊本産) との比較を行った。

(ウ) 佐賀県産ブロッコリー及びパセリの機能的栄養成分の研究分析と活用の検討

- ・ 事業者名：有限会社佐嘉の絲
- ・ 確定額：217,000 円
- ・ 補助期間：平成 27 年 5 月 25 日から平成 28 年 2 月 29 日まで
- ・ 研究概要
ブロッコリーの葉及び茎、パセリの葉及び茎をパウダー化し、ブロッコリーではGABA、リジン、スルフォラファン、パセリパウダーではアピイン、βカロテンの含量分析を行った。

(エ) 自社農園にて栽培するひげにんにくを使った「にんにくオイル」に含まれる「アホエン」「アリルシステイン」「シクロアリイン」の含有量・成分分析

- ・ 事業者名：えがちゃん農園
- ・ 確定額：124,000 円
- ・ 補助期間：平成 27 年 7 月 30 日から平成 28 年 2 月 29 日まで
- ・ 研究概要
HPLC によるにんにくオイル中の「アホエン」「アリルシステイン」「シクロアリイン」の含有量・成分分析を行った。

(オ) れんこんを発酵させた場合また味噌へ加工した際の「メラノイジン」「ビタミンC」「ビタミンB12」「ポリフェノール」の含有量の変化を分析・評価する。

- ・ 事業者名：井手食品有限会社
- ・ 確定額：639,000 円
- ・ 補助期間：平成 27 年 7 月 30 日から平成 28 年 2 月 29 日まで
- ・ 研究概要
メラノイジンの測定に関しては DPPH を用いて味噌のラジカル消去能の比較を行った。
麴菌力価とカテキンの含有量分析を行った。
味認識分析器で、れんこん味噌、米味噌、れんこんはちみつ味噌、米はちみつ味噌、れんこんたまり汁、米たまり汁の旨味、塩味、酸味の分析を行った。日本食品分析センターで米味噌、れんこん麴入り味噌、米味噌たまり汁、れんこん麴入り味噌たまり汁の「ビタミンB12」「ビタミンC」総ポリフェノール、(イソフラボンを含む)の含量分析を行った。

(カ) 嬉野市産お茶の実(完熟果実・未熟果実)及びお茶の実油の成分分析と物性測定～一般成分(五成分エネルギー)、脂肪酸、ミネラル、ビタミンE、トコトリエノール、ケン化価、ヨウ素価及び抗酸化の分析～

- ・ 事業者名：株式会社緑門
- ・ 確定額：640,000 円

- ・補助期間：平成27年8月12日から平成28年2月29日まで
- ・研究概要

お茶の実(完熟果実)及びお茶の実油の一般成分(五成分エネルギー)、お茶の実(完熟果実)及びお茶の実油のヨウ素価及びケン化価、お茶の実(未熟果実・完熟果実)及びお茶の実油の脂肪酸分析、お茶の実(未熟果実・完熟果実)及びお茶の実油のミネラル成分の分析、お茶の実(未熟果実・完熟果実)及びお茶の実油のトコフェロール及びトコトリエノールの分析、お茶の実(完熟果実・未熟果実)及びお茶の実油の抗酸化の分析を行った。

(12) 戦略的基盤技術高度化支援事業 [36,445,165円：国受託・補助事業]

《担当部署：研究開発推進課》

国の競争的資金である当該事業に対し、新製品・新技術を志向する県内中小企業等からの申請相談、共同研究体制の構築等への支援を行ない、採択後の研究推進及び事業管理を行い、研究の製品化、事業化まで見据えて支援した。

なお、今年度は、昨年度からの継続2事業について、事業管理及び研究推進支援を行った。

【事業1】継続案件

【研究テーマ】

熱可塑性フッ素樹脂に熱伝導性フィラーを高密度・高充填したパワーエレクトロニクス機器用高耐熱性放熱シートの開発

○事業期間：平成25年度～平成27年度（3年間）

○総事業費：49,830千円（国委託金）

○平成27年度事業費：11,154,310円

○実施体制：

- ・事業管理者（公財）佐賀県地域産業支援センター
- ・研究実施者（株）P A T、（株）A Q U A P A S S、（国法）九州大学、佐賀県窯業技術センター

ア 事業概要

従来、高分子材料にアルミナなどの無機系放熱材料の添加量を増加させると、耐熱性、加工性、耐久性が低下する問題がある。

本研究では、この解決のために、高密度・高充填技術の開発を進め、高熱伝導性であり同時に高耐熱性を有する、新しい放熱シート製造法の研究を実施した。

イ 研究成果

（ア）本年度は、新フッ素樹脂の研究にあたり、フィラーの分散性が低く高充填に伴い緻密度が低下するという新たな課題が判明したため、新規表面処理法の開発が必要となり、その結果、大判サイズ且つ、更に精度の高いシートを製作することができた。

- (イ) 高密度・高充填技術の開発において、効果的に熱伝導率を高めるために、シートの物性データを集計し体系化すると同時にフッ素樹脂シートに於ける熱伝導率のメカニズムを解明したため、試作品を製作し、サンプルワークを展開することができた。
- (ウ) プレス盤表面損傷防止技術の開発において、メンテナンス周期を設定し、設計・試作を行った。
- (エ) 放熱シートに密着性を付与する技術の開発では適度に接着力を有する新粘着剤を開発し、顧客評価の高いシートを試作することができた。

【事業2】 継続案件

【研究テーマ】

タッチパネルディスプレイ用機能性フィルムのための熱影響を抑制するレーザー切断装置の実用化開発

○事業期間:平成26年度～平成27年度(2年間)

○総事業費:73,564千円(国補助金)

○平成27年度事業費:28,833,539円

○実施体制:

- ・事業管理者 (公財)佐賀県地域産業支援センター
- ・研究実施者 武井電機工業㈱、(国)九州大学、佐賀県工業技術センター

ア 事業概要

スマホ等のタッチパネルディスプレイとして使用される機能性フィルムの切断において、機械加工では応力による割れが発生し問題となっている。

またレーザー光による非接触加工は、どのメーカーも量産水準で加工品質と処理能力とを両立できていない。

そこで、複雑な形状が得意なレーザー加工について高速加工が可能な方法と技術を確立する研究を行った。

イ 研究成果

今年度は、従来品に比べ、熱影響を低減し効率的に加工できる速度・精度の目標値を達成することが出来た。

昨年度試作した実証装置を用いて、多くのフィルムメーカーの評価試験を受け高い評価が得られた。平成28年度からの事業化において大きな期待が持てる状況である。

(13) 中小企業海外展開支援事業 [20,862,441円:佐賀県補助事業]

《担当部署:総務管理課》

国際化推進のために佐賀県と連携して中国国内に設置した海外事務所(瀋陽事務所、香港事務所)における活動及び維持に係る事務管理を行った。これにより、県内中小企業の海外展開の支援が実現できた。

ア 海外事務所所在地

- ・瀋陽事務所（遼寧省瀋陽市和平区）
- ・香港事務所（香港セントラル地区）

イ 海外事務所の主な活動

（ア）中国国内における情報収集、情報提供

中国国内のタイムリーな情報を収集し、随時関係企業等へ情報を提供した。

（イ）県内中小企業等に対する相談支援

県内中小企業等からの相談対応について、現地の事情などを踏まえた助言を行った。

（14）佐賀県海外事務所活動受託事業 [16,995,253円：佐賀県受託事業]

《担当部署：総務管理課》

「中小企業海外展開支援事業」で設置している瀋陽事務所及び香港事務所において、県内産業の発展に資する様々な国際関連の取組を、佐賀県から受託し最前線（現地）で実施した。

ア 企業取引支援

見本市等への出展、県内企業による現地活動支援などを行った。

イ 県産品の輸出促進・販路開拓

有田焼等の焼物、工業製品、加工食品などの県産品について、現地百貨店バイヤーや輸入業者等、さらには消費者に対するPR活動を行った。

ウ 外国人観光客の誘致

現地旅行会社への営業活動、旅行会社やメディアとタイアップした観光客の誘致活動などを行った。

エ 現地関係機関等からの情報収集及び収集した情報の提供

現地の政府機関や民間機関、さらには日本人や日系企業などによる任意団体などから、県内企業等からのニーズをふまえて様々な現地情報を収集し、随時提供した。

2 設備投資支援、取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援（公2）

【事業の趣旨】

県内中小企業の振興を図るため、本事業は、設備投資支援や取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援を行うことを目的としている。

【事業の構成】

本事業は、次の事業から構成される。

- 1 取引拡大事業
- 2 中小企業緊急商談会開催事業
- 3 設備貸与事業
- 4 中小企業連携強化促進事業
- 5 特許等取得活用支援事業
- 6 知的財産普及・活用支援事業
- 7 中小企業等外国出願支援事業
- 8 佐賀県地域産業支援センター施設貸与事業

【公2個別事業の内容】

（1）取引拡大事業 [6,348,338円：佐賀県補助事業]

《担当部署：ものづくり支援課》

県内機械金属製造業・自動車関連企業及びサービス業を中心とした下請中小企業に対する受発注取引のあっせんを行った。また、受注機会の拡大、新規取引先の拡大のため、見本市等への製品・加工技術の展示の支援や九州地区各支援機関等と共同して商談会を開催し、取引の拡大を支援した。

ア 取引あっせん状況

登録企業数		申出件数		あっせん 件数	取引成立 件数	当初成立金額 (千円)
発注	受注	発注	受注			
262 (0) ※	705 (1) ※	145	142	336	11	74,821

※ () 内は、平成27年度の登録企業数

- イ 平成28年版登録企業名簿の発行 800部
- ウ 受注余力調査 年4回（四半期毎）
- エ 発注開拓調査 年2回（九州合同）
- オ 外注状況調査（県内） 1回

カ 商談会・展示会の開催

- (ア) 商談会開催・参加支援 5回 (県内参加企業 延べ34社)
- ・「製造技術マッチングフェア」 (平成27年6月、北九州市)
 - ・「九州自動車部品現調化促進商談会」 (平成27年10月、福岡市)
 - ・「九州7県合同広域商談会」 (平成27年12月、京都市)
 - ・「久留米広域商談会」 (平成28年1月、久留米市)
 - ・「九州自動車新技術・新工法展示商談会
in 日産」 (平成28年2月、厚木市)
- (イ) 展示会等出展支援 7回 (出展企業 46社)
- ・「第19回機械要素技術展」 (平成27年6月、東京都江東区)
 - ・「中小企業テクノフェア in 九州2015」 (平成27年10月、北九州市)
 - ・「モノづくりフェア2015」 (平成27年10月、福岡市)
 - ・「メッセナゴヤ2015」 (平成27年11月、名古屋市)
 - ・「北部九州3県合同取引拡大展示商談会
in ダイハツ九州(株)大分(中津)工場」 (平成27年11月、中津市)
 - ・「佐賀県・熊本県合同取引拡大展示商談会
in ダイハツ九州(株)久留米工場」 (平成28年2月、久留米市)
 - ・「ダイハツグループ九州開発センターへの
技術提案活動」 (平成28年3月、久留米市)

キ 下請かけこみ寺事業

下請取引に関する様々な問題を抱える県内中小企業者等の相談に応じ、問題解決に向けてのアドバイス等の支援を行うとともに、「下請振興法」、「下請代金等遅延防止法」等の周知や、「下請かけこみ寺事業」の周知活動を行った。

- ・相談件数 14件 (延べ17回 うち無料弁護士相談4回)

(2) 中小企業緊急商談会開催事業 [55,814円：地域産業活性化基金事業]

《担当部署：ものづくり支援課》

県内中小企業の受注量の確保のために、機械金属関連企業等の業種を対象に県内外の大手・中堅企業の発注担当者を招き、商談会を開催した。

- ・開催回数 1回 (3月)
- ・参加企業 発注企業 30社、 県内受注企業 43社

(3) 設備貸与事業 [48,449,910円：佐賀県貸付金事業、自主事業]

《担当部署：ものづくり支援課》

創業及び経営基盤の強化に必要な設備について、当公益財団が設備を購入し、県内小規模企業者等に対して、貸与(割賦・リース)を行った。

○業種別貸与状況 (5 企業 71,700,000 円)

業 種	割賦		リース	
	企業数	金額(千円)	企業数	金額(千円)
鉱業, 採石業, 砂利採取業 (鉱業, 採石業, 砂利採取業)	1	41,250	—	—
建設業 (職別工事業)	1	4,320	—	—
製造業 (食料品製造業)	1	11,950	—	—
製造業 (はん用機械器具製造業)	1	4,100	—	—
サービス業 (自動車整備業)	1	10,080	—	—
合 計	5	71,700	—	—

(4) 中小企業連携強化促進事業 [11,013,700 円 : 佐賀県補助金]

《担当部署 : 中小企業連携推進グループ》

コーディネーター2名を配置し、発注企業が他地域から調達している部品の新規受注を目指す活動や、現場改善活動により企業体質を強化する活動を行った。

《活動成果の概要》

ア 新規受注活動 受注件数 12 件、受注額 3,170 千円

(ア) 自動車関連

・自動車関連 A 社から 6 件の新規受注

(1) 切削加工 B 社	17 千円	塗装機用シリンダ ロットメッキ修正
	333 千円	旋盤用コレット製作
(2) 工業印刷 C 社	74 千円	バルブ 開閉明示プレート製作等
(3) 製缶加工 D 社	65 千円	低圧鋳造機 加取りプレート製作
(4) プレス加工 E 社	12 千円	チップ コンベアー用 板製作
(5) 弱電組立 F 社	150 千円	Assy テスターハーネス製作
(6) 樹脂成形 G 社	116 千円	エンジン用 テリバリキャップ 製作

(イ) 電機関連

・電機関連 H 社から 2 件の新規受注

(1) 板金加工 I 社	1,883 千円	板金カバー製作
(2) プレス加工 J 社	40 千円	機械加工部品製作

- ・電機関連K社から2件の新規受注

(1)板金加工L社	107千円	板金加工部品製作
(2)プレス加工M社	51千円	板金加工部品製作

(ウ) その他

- ・その他N社から2件の新規受注

(1)切削加工O社	280千円	技能検定試験用材料製作
(2)研磨加工P社	42千円	" "

イ 現場改善活動 2社

(ア) プレス加工企業Q社

- ・(テーマ) QC活動の社内定着化
 コーディネータ及びダイハツ九州久留米工場の協力により、QCサークルの立ち上げ～QC基礎教育の開催～QC活動実施～QC活動事務局立ち上げ～QC活動の自主運営までを支援。
- ・(結果)
 2サークルを立ち上げ、QC活動の成果報告会を実施。
 3サークル目を立ち上げ活動を開始した。
 事務局による28年度活動計画書を作成し自主運営に向け動き出す。

(イ) プレス加工企業R社

- ・(テーマ) 現場力改善
 コーディネータ及びダイハツ九州久留米工場の協力によりTPM活動教育と現場活動、全社の2S教育と現場活動を実施。併せて新経営者への方針教育を行う。
- ・(結果)
 集出荷場のレイアウト変更による効率化を実現。
 モデル設備による2S活動を実施。
 新社長による方針を決定。

(5) 特許等取得活用支援事業 [26,761,300円：国受託事業]

《担当部署：知財支援課》

中小企業等の知的財産に関する課題等の相談を受け付ける「知財総合支援窓口」を設置し、商工団体等との連携のもと、窓口支援担当が知財専門家（弁理士等）と協働するなどして、特許等の取得や活用に関する支援を行った。

- ・窓口支援担当者 4名、事務担当者 1名
- ・支援件数 延べ 2,268件

(6) 知的財産普及・活用支援事業 [4,055,978円：佐賀県受託事業]

《担当部署：知財支援課》

自治体特許流通コーディネーターを配置し、県内中小企業への知的財産に関する普及啓発を行うとともに、技術移転等の支援により新技術・新商品開発の推進を図った。

- ・自治体特許流通コーディネーター 1名
- ・支援件数 延べ 288件

(7) 中小企業外国出願支援事業 [2,201,000円：国補助事業]

《担当部署：知財支援課》

外国への事業展開等を計画している県内中小企業者の特許等外国出願に対して支援を行った。

- ・支援件数 4企業（商標7件）
- ・助成率 1/2以内

支援企業名	出願内容	出願件数	助成金額（円）
古伊万里酒造(有)	商標出願	3件	890,000
(有)佐賀ダンプホール商会	商標出願	1件	82,000
(株)大橋	商標出願	2件	953,000
富久千代酒造(有)	商標出願	1件	276,000
計4企業		計7件	2,201,000

(8) 佐賀県地域産業支援センター施設貸与事業 [3,114,315円：佐賀県受託事業]

《担当部署：総務管理課》

佐賀県地域産業支援センターの指定管理者として、設置目的である技術の高度化、経営の効率化等企業の事業活動に対する支援に資するため、経費節減や利用者の満足度向上等に配慮しながら、管理運営を行った。

ア 研修室貸出

- ・第1研修室利用承認件数 158件
- ・第2研修室利用承認件数 98件
- 計 256件

イ 研究開発室貸出

- ・入居審査会開催件数 3件
- ・入居貸出件数（年度末時点） 3件

ウ ビデオ貸出

- ・ビデオ貸出 90巻

3 県内中小企業の福利厚生の実施を促進し、人材確保や定着化を図るとともに従業員の健康増進に関する支援（公3）

【事業の趣旨】

本事業は、中小企業単独では実施が困難な福利厚生事業について、そのスケールメリットを生かして、県内中小企業の福利厚生の実施を促進し、健康増進、自己啓発、余暇活動等総合的な福祉サービスを提供することにより、人材確保や定着化とともに従業員の健康増進等に資することを目的としており、県内全ての中小企業事業主及び当該中小企業の従業員を対象としている。

なお、事業の実施に当たっては、効率的な事業運営のために、「会員」制度を採用し、一定額の運営負担金と会費の納入により行っている。

【公3個別事業の内容】

（1）中小企業勤労者福祉サービスセンター事業

[35,305,845円：受取会費、佐賀県・県内市町・事業所負担金]

《担当部署：中小企業勤労者福祉サービスセンター》

ア 健康増進事業

会員の健康を増進するため、人間ドック・脳ドック・一般健診にかかる費用等に対して助成を行った。

イ 自己啓発事業

会員の自己啓発を支援するため、自己啓発にかかる費用に対して助成を行った。

ウ 余暇活動事業

会員等の余暇活動を支援するため、余暇活動にかかる費用に対して助成を行った。

4 県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活を安定させるための支援（他1）

【他1個別事業の内容】

（1）共済給付事業 [6,000,005円：受取会費]

《担当部署：中小企業勤労者福祉サービスセンター》

会員である県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活安定を図るため、(一財)全国勤労者福祉・共済振興協会（以下「協会」という。）の共済制度を活用して、会員への各種慶弔給付を行った。

5 地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究に関する支援（公4）

《担当部署：九州シンクロトロン光研究センター》

【事業の趣旨】

本事業は、佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター（以下「研究センター」という。）の指定管理者として施設を運営し、企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究支援を行うことにより、地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与することを目的とする。

【公4個別事業の内容】

（1）佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター運営事業

[514, 835, 818 円：佐賀県受託事業]

ア 利用支援・設備等貸与

「地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与する」ため、実験研究施設・設備を用いた利用支援を通じて、企業、大学、公的研究機関が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究開発への支援を行った。

企業や大学等の利用に供する県有ビームラインについて、利用者に対して支援を行う他、測定装置の充実等によって利用環境を拡充するとともに、企業や大学の若手研究者を対象としたセミナーを開催するなど、利用促進を図った。併せて、他機関ビームラインについても各種の支援を行い、利用促進を図った。

このことにより、県有ビームラインの利用実績は、162件 3,202時間となった。

イ 光源及び利用技術の研究・普及

「地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与する」ため、シンクロトロン光（放射光）の光源とその利用に関する研究開発を行い、利用支援の展開につなげた。

具体的には、光源加速器やビームライン設備の性能向上や測定技術開発等のための試験研究、産学官の各機関との共同研究、科学研究費補助金等の競争的外部資金を用いた研究を行った。

また研究成果を利用支援につなげるとともに、研究成果報告会、ホームページ、論文及び学会等での発表を通じて積極的に発信した。

さらに、研究スタッフの研修や技術交流の面でも、関係施設との連携を図った。

ウ 情報発信等

施設の一般公開、学校見学、各種展示会への出展等を通じて、施設の紹介や最先端の科学技術の紹介を行った。

また、インターンシップ生を受け入れ、未来を担う若者の就業体験を支援した。

(2) 先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業

[16,508,421円：文部科学省補助事業]

本事業は、大学、独立行政法人等の研究機関等が有する先端研究施設の共用を促進するとともに、これらのネットワーク化や先端性向上等を行うことで多様なユーザーニーズに対応するプラットフォームを形成し、利用の裾野拡大等を目指している。

当研究センターの先端研究基盤共用事業においては、先端産業の実用化技術や基盤技術の高度化を支援するために、1日単位の短期利用から最長1年の期間にまたがる長期利用課題の受け入れとフォローを行い、研究センターが有する複数の県有ビームラインを選択的に用いて、シンクロトロン放射光利用技術の指導、支援等(35件911.5時間)を行った。

また、プラットフォーム形成事業において、シンクロトロン放射光施設6機関とレーザー施設2機関から構成される「光ビームプラットフォーム」に参画し、全国的な視野で利用情報の発信、共通技術の開発、人材交流等を行い、利用者の利便性向上や裾野の拡大に取り組んだ。

第3 庶務事項

(1) 理事会

年月日	内 容		
H27.6.2	第1回理事会	第1号議案	平成26年度の事業報告、計算書類及びそれらの附属明細書並びに財産目録の承認の件
		第2号議案	変更承認申請の件
		第3号議案	評議員会招集の件
		報告事項	職務執行状況の報告
H27.7.27	第2回理事会 (書面)	第1号議案	公益目的事業の新規事業追加の件
		第2号議案	変更認定申請手続き及び申請書類等の補正を理事長に一任する件
H28.3.8	第3回理事会	第1号議案	平成27年度事業計画変更の件
		第2号議案	平成28年度事業計画及び予算の件
		第3号議案	公益目的事業の変更認定申請手続き及び申請書類等の補正を理事長に一任する件
		第4号議案	一時借入最高限度額の件
		第5号議案	財産処分の件
		第6号議案	定款変更の件
		第7号議案	評議員会の招集の件
		報告事項	職務執行状況の報告

(2) 評議員会

年月日	内 容		
H27.6.18	第1回評議員 会	第1号議案 報告事項	平成26年度の貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認の件 平成26年度事業報告
H27.7.31	第2回評議員 会 (書面)	第1号議案 第2号議案 第3号議案	公益目的事業の新規事業追加の件 変更認定申請手続き及び申請書類等の補正を理事長に一任する件 評議員選任の件
H28.3.23	第3回評議員 会	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案	平成27年度事業計画変更の件 平成28年度事業計画及び予算の件 公益目的事業の変更認定申請手続き及び申請書類等の補正を理事長に一任する件 財産処分の件 定款変更の件